

新規公開資料について

二〇一八年一月一日より左記資料を公開した。

三井鉱山本店資料（請求記号「鉱山本店」一〇一八）

本資料は、三井鉱山本店旧蔵資料で二〇一四年に寄贈を受けたものである。総点数は仮整理の段階で約三〇〇〇点を数える。資料整理ができたものから順次公開することとした。

今回公開したのは、三井鉱山が株式会社として発足した一九一一年（明治四四）から神岡鉱業創立（金属鉱山分離）後の一九五一年（昭和二六）までの決算にかかわる資料一八点である。左記のとおり、（一）決算報告書、（二）決算関係表、（三）その他附属資料に大別できる。

（一）決算報告書

営業報告書、貸借対照表、損益計算書、利益金処分案、財産目録などの財務諸表。今回の公開対象は一九一一年上期から一九五一年上期まで。

（二）決算関係表

事業所・工場別の損益計算表など財務諸表の内訳を示す資料。折込の表が分厚く綴じられた帳簿で、破損が著しいものもあり、欠落も散見される。一九二二年（大正一一）上期分

から残存している。今回は一九五一年下期までを公開した。

（三）その他附属資料

その他決算にかかわる附属書類。詳細な調査表のほか株主総会の記録を含む資料などもある。

本資料の検索は閲覧室備え付けの冊子目録で行い、デジタル画像により閲覧に供するものとする。

三井物産沿革史資料（請求記号「物産治」一〇五九）

本資料は一九三五年（昭和一〇）に編纂に着手され一九四一年（昭和一六）九月に稿本段階で編纂中断となった『三井物産沿革史（稿本）』とその関連資料である。

『三井物産沿革史（稿本）』は、第一編「総説」、第二編「前記」、第三編「創立」、第四編「業務」（業務第一期から第五期まで全八分冊）、第五編「制度」、第六編「訓示」、第八編「統計」、第九編「年表」の全一五冊からなる。なお、第七編「社員、重役及職員附店舗」は伝わっていない。

関連資料としては「編年史料」「制度並関係事項纂録」「業務沿革史稿本」「物産会社ノ思出話集」などがあがる。

本資料の検索は閲覧室備え付けの冊子目録で行い、デジタル画像により閲覧に供するものとする。